

令和元年版

# 環境白書

平成30年度年次報告

有田市

## はじめに

本市は、海、山、川と多くの自然に囲まれ、近海では年中を通じて豊富な魚種が水揚げされ、大地では秋から冬にかけて温州みかんをはじめとした柑橘類が実をつけるなど、私たちの生活にとって欠かすことのできない恵みをもたらしてくれています。

一方、私たちの周りの環境に目を向けますと、生活が豊かになるにつれ、生活ごみや産業廃棄物の増加、ごみの不適正処理や廃棄物の不法投棄、生活雑排水など、自然環境に影響する様々な問題が発生しています。

地球規模の環境では、地球温暖化や気候変動、生物多様性の喪失など多くの問題が国際会議などで議論されております。また、近年プラスチック廃棄物の海洋汚染が問題となっており、今年6月に長野県で行われたG20の地球環境に関する関係閣僚会合において、海洋プラスチックごみに対し、各国が自主的な対策を実施し、その取組みを継続的に報告・共有する実効性のある新しい枠組みに合意がなされました。

こうした環境問題に対応するため、廃棄物等の発生量及びエネルギー消費量の抑制、生活排水対策、不法投棄対策などを本市においても実施し、市民の皆様が健康で快適な生活を営める環境を持続していけるよう取組みを進めています。

また、環境に関する認識を深め、市民の皆様をはじめ事業所等と連携を図りながら、循環型社会を構築することで、ごみの減量化を図っていけるよう、さらなる取組みを積極的に進めてまいりたいと考えていますので、「環境にやさしい有田市」の確立に向け、皆様一人ひとりの自主的かつ積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

この環境白書は、地球規模的なものから私たちの身近な環境についてまでの課題や状況、さらには平成30年度における有田市内の大気、水質、騒音等について測定した結果などをもとに環境状況を取りまとめたものです。この冊子をもとに、環境問題に関する認識をさらに深められ、一緒に考えていただければ幸いです。

令和元年12月

有田市長 望月良男



## 目 次

第1章 有田市の概要	1
第1節 市のあらまし	1
第2節 工業の概要	2
第3節 用途地域別面積等	3
第4節 生活環境行政機構及び審議会等	3
1. 生活環境行政機構	3
2. 生活環境課事務分掌・業務内容等	4
3. 環境対策審議会及び委員名簿	4
第5節 環境調査の活動状況	5
第6節 公害関係予算（決算）	5
第7節 有田市の自然環境	6
第2章 地球温暖化	7
第1節 地球温暖化に対する国際的な取り組みの流れ	7
第2節 有田市の地球温暖化への取り組み	8
第3節 水環境の保全（生活排水処理対策）	9
第3章 大気質	10
第1節 大気汚染の現況と対策について	10
1. 大気汚染監視体制	10
2. 大気汚染物質による環境への影響	10
3. 大気汚染に係る環境基準とその評価方法	11
4. 大気汚染防止対策について	12
第2節 大気汚染測定結果について	12
1. 二酸化硫黄測定結果について	12
2. 窒素酸化物測定結果について	14
3. 浮遊粒子状物質（S P M）の測定結果について	15
4. 微小粒子状物質（P M 2. 5）の環境基準適合状況について	17
5. 光化学オキシダントについて	18
第4章 騒 音	21
1. 環境騒音実態調査について	21
2. 騒音に係る環境基準について	21
3. 騒音測定結果について	22
第5章 水 質	23
1. 河川水質の環境基準について	23
2. 河川水質測定結果について	24
3. 工場排水測定結果について	25
4. 水浴場水質判定結果について	26
第6章 環境に関する相談	27
第7章 廃棄物	28
第1節 一般廃棄物分別収集について	28
1. 有田市一般廃棄物分別収集	28
2. 一般廃棄物の収集区域と体制	28
3. 一般廃棄物処理の流れ	29
第2節 ごみ減量化対策について	30
1. 資源ごみ集団回収奨励事業	30
2. 資源ごみ回収ボックス貸出事業について	30
3. 生ごみ処理容器・生ごみ処理機購入費補助事業	31
4. 放置自転車の撤去	32
5. 今後のごみ減量化対策について	32
第3節 し尿収集運搬について	33
1. 有田市のし尿処理	33
2. 生し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬の仕組み	34